



別所憲法9条の会 たより

2025年5月 第201号

悲しいお知らせです。当会メンバーの櫻井浩さんがお亡くなりになりました。しばらく連絡がつかず、心配していた矢先の訃報に心が乱れます。会は約一年半前、あのやわらかな笑みをたたえた櫻井民子さんを失いました。今またもう一人の櫻井さんまで送ることになるとは…。

櫻井浩さんは長野県の南部、今は阿智村になった清内路の生まれ。ここ下伊那地方は、戦前、戦中、日本で一番多くの開拓民を満洲に送り出した地方です。村から満洲に渡った人がいたことを覚えていると話していた櫻井さんとは、『ふえみん』紙の南信州ツアーで一緒に、満蒙開拓平和記念館や平岡ダムを訪ねました。嵐神温泉の宿で同室になり、いろいろおしゃべりしたことが懐かしく思い出されます。

かつてアジア経済研究所に勤めていただけあって、朝鮮半島の情勢に詳しかった櫻井さん。戦後世代の私たちが知らない終戦直後の混乱した日本を目の当たりにしてきた人生経験を、もっともっと語ってほしかったのに、もはやかなわないこととなりました。残念至極です。

飄々とした態度、物静かな口調、それでいながら芯の通った平和への思いを感じさせてくれた櫻井さんが残してくれた「九条の灯をいつまでも」。長い間、お疲れさまでした。今はゆっくりおやすみください。これからも空の彼方から私たちの活動を見守ってくださることを信じております。合掌

登戸研究所資料館をいつしょに見学しませんか！？

日 時 5月23日(金) 10:00~12:00

場 所 登戸研究所平和資料館 展示ガイド付き

明治大学生田キャンパス内(小田急線生田駅)

参加費 交通費のみ 5/31まで「風船爆弾」の特別展示が見られます。

登戸研究所は戦前に旧日本陸軍によって開設された研究所です。秘密戦兵器・器材を研究開発していました。

参加ご希望の方はメールにてご連絡ください。

メール連絡は→  mail@bessho9.info

◆お申込みは前日まで承りますが、早めに申し込んでいただけると助かります。

8:43発 京王堀之内駅

*新宿方面行きホームのエレベーター前に集合
大島行き快速に乗車

8:58発 多摩センター駅 (小田急多摩線新宿行き急行)

9:13発 新百合ヶ丘駅 (小田急線新宿行き各停)

9:20 小田急線生田駅南口より徒歩出発 (約10分)

◆上記のどこかで合流してください。
◆当日参加もできます。

堀之内駅前での宣伝

5/19(月) 10:00~11:00

核兵器禁止
大軍拡、戦争への道反対
金権政治はだめ

八王子アクション

5/18(日) 14:00~

JR八王子駅北口

5/19(月) 18:30~
19日国会議員会館前集会

許すな!憲法改悪・市民運動全
国交流集会

「戦争する国」の道を止める

5/31(土) 13:30~

全水道会館大会議室

水道橋駅(JR線 & 地下鉄三田線)

志葉玲さん(ジャーナリスト)
ウクライナの取材から

猿田佐世さん

(新外交イニシアティブ代表)
日米同盟によるリスクとこれからの日本

ガザの今：ガザにおける聖週間(4月イースター)

パレスチナに関する報道がほぼなくなってしまいましたが、ジェノサイドは依然続いています。わたしたちのお仲間の北林さんが4月半ばにご投稿くださいました内容をお伝えします。

- ✓ 聖週間をお迎えになり、一年の内でも特別な日々をお過ごしのことと存じます。日頃よりパレスチナ子どものキャンペーンにお力添えを賜り、感謝を申し上げます。
- ✓ ガザ地区には、極めて少ないながらもクリスチヤンのコミュニティーが存在します。会衆はローマ・カトリック、ギリシャ正教、米バプティストの3つの教会で典礼・礼拝をともにしています。またイギリス聖公会(アングリカン)は「アル=アハリー・アラブ病院」を運営し、敷地内にチャペルを有しています(地元では旧名の「バプティスト病院」で通っていますが、現在は聖公会です)。
- ✓ 13日の「棕櫚の主日」を祝う、ギリシャ正教の聖ポルフィリウス教会の会衆のようすがフェイスブックで共有されていましたので、ご案内します。

Saint Porphyrios Orthodox Church - Gaza

- ✓ しかし、この教会のある街区には、上記の聖公会の病院があり、13日未明に爆撃を受けました。「テロリストが活動しているから」というのが空爆の理由ですが、実際には直前にスマートフォンなどに「警告」を流し、医療関係者や患者を病院外に退去させて爆破していますので、「テロリスト」ではなく「病院」を壊すことが目的になっています。追い出された患者のうち、重篤だった少年が死亡したそうです。

『MiddleEastEye 4/14』イスラエル、ガザ地区北部で唯一稼働していた病院の機能を停止さす
『アル・ジャジーラ 4/13速報』イスラエル軍、アル=アハリー病院爆撃／患者に避難を強制

- ✓ これにより、ガザ市やガザ地区北部を含めた地域で、100万人近い域内人口に対して医療を提供、また緊急救命ができる病院は、ひとつもなくなりました。13日にこのアル=アハリー・アラブ病院を攻撃したのは、「棕櫚の主日」に合わせたようにも感じられます。敷地内のチャペルも損壊を受けました。
- ✓ お聞き及びとは思いますが、3月2日に検問所が閉鎖されて以来、いっさいの国連や諸外国、NGOなどからの援助物資は入域しておらず、商業取引による商品も止まり、1か月と2週間を過ぎた今日、飢餓が目前と言われています。電気や燃料も断たれ、地下水のくみ上げや海水の脱塩化装置が次々に停止、飲む水さえなくなりつつあります。どうやって生きているのか、理解できない状況です。サウジアラビア政府が支援した医療物資倉庫も攻撃を受け炎上、病院でつかう資材薬品がなくなりました。
- ✓ 3月18日に停戦が崩壊してから、ガザの人びとは「地獄にいる」と言っています。これでやっと爆撃が終わり、家は瓦礫になったけれど、これ以上家族が死に、悲惨な目に遭わずにすむ、と思っていた矢先だからです。精神的に限界に追い詰められている人がほとんどだと思われます。
- ✓ 状況をなかなか変えることができず、無力感を感じることが多いですが、それでもできることを行っていくしかありません。彼らの前で絶望に浸ることは許されません。現地の声を聞いていただき、状況を共有いただき、日本からも「忘れていないよ」、「こんなことをしているよ」、「みんなで祈っているよ」という声を届けていただければ幸いに存じます。
- ✓ こんな聖週間を迎えるとは、ガザの、そしてパレスチナ全域のクリスチヤンも、想像だにしていなかっただろうと思います。即時の停戦、命が守られ、人びとの尊厳が尊重され、平穏と静謐によって祈りが守られることを、今一度願いたいと思います。 2025年4月



北林 岳彦 認定NPO法人 パレスチナ子どものキャンペーン

5月に届きました続報をウェブページにてご覧いただけます。下記記載のホームページより
【パレスチナ】のページへ！



メール連絡は→ 別所憲法9条の会ホームページ ➤ <https://bessho9.info/>